

## スポーツ総合演習「卒業論文」

高等学校体育コースによる卒業論文のテーマに「オリ・パラ」

期待できる効果

●こんな子どもの姿を期待できます

- ・オリンピック・パラリンピックへのかかわり方を考える子ども
- ・生涯を通じてスポーツの振興発展にかかわることができる子ども

### 1 パラリンピック選手の紹介

リオデジャネイロオリンピックで銅メダリストになった辻沙絵選手の映像とその後のインタビューを視聴しました。ハンディキャップを乗り越え、種目を変更し、粘り強く物事に取り組んだことで大きな成果を挙げたことを学びました。

### 2 オリ・パラについての卒業論文

テーマ1「オリンピック開催に向けて—ソフトボール競技復活における起点—」と題して発表を行いました。北京オリンピックで日本チームが金メダルを獲得した種目が、その後競技から外れました。しかし東京オリンピックでは復活したことを基に種目の決定にはどのような基準や条件があるのか調査研究を行い、発表しました。

テーマ2「パラリンピック選手がオリンピック記録を超えられるか」と題して、陸上競技の義足の進化にともなって記録が伸びていることに注目し、今後オリンピック記録を超えるかについて調査研究を行い、発表しました。

### 3 卒業論文を深める話し合い

グループで、発表についての意見交換を行いました。協議の中で出てきた意見や質問をまとめ、発表者へ質問を行いました。

テーマ1への質問では、今後ソフトボールが継続されるためにはどのような条件を整えていくことが重要であるか、テーマ2への質問では、義足等選手それぞれ違うものを使用しているのに平等なのか等の意見や質問が出され意見交換も活発に行われました。

今後、スポーツを普及させるためには、スポーツの価値を高めていくことが重要で、自分たちが、競技者として「する」だけでなく関わっていくことで価値が高まっていくことを学びました。



ココがポイントです！

- ①研究テーマを決めさせる前に、多様な情報と出会わせておくことが大事です。
- ②学年内のみならず、下級生へも発表し、意見交換をすると効果的です。

## 卒業論文発表会の様子

